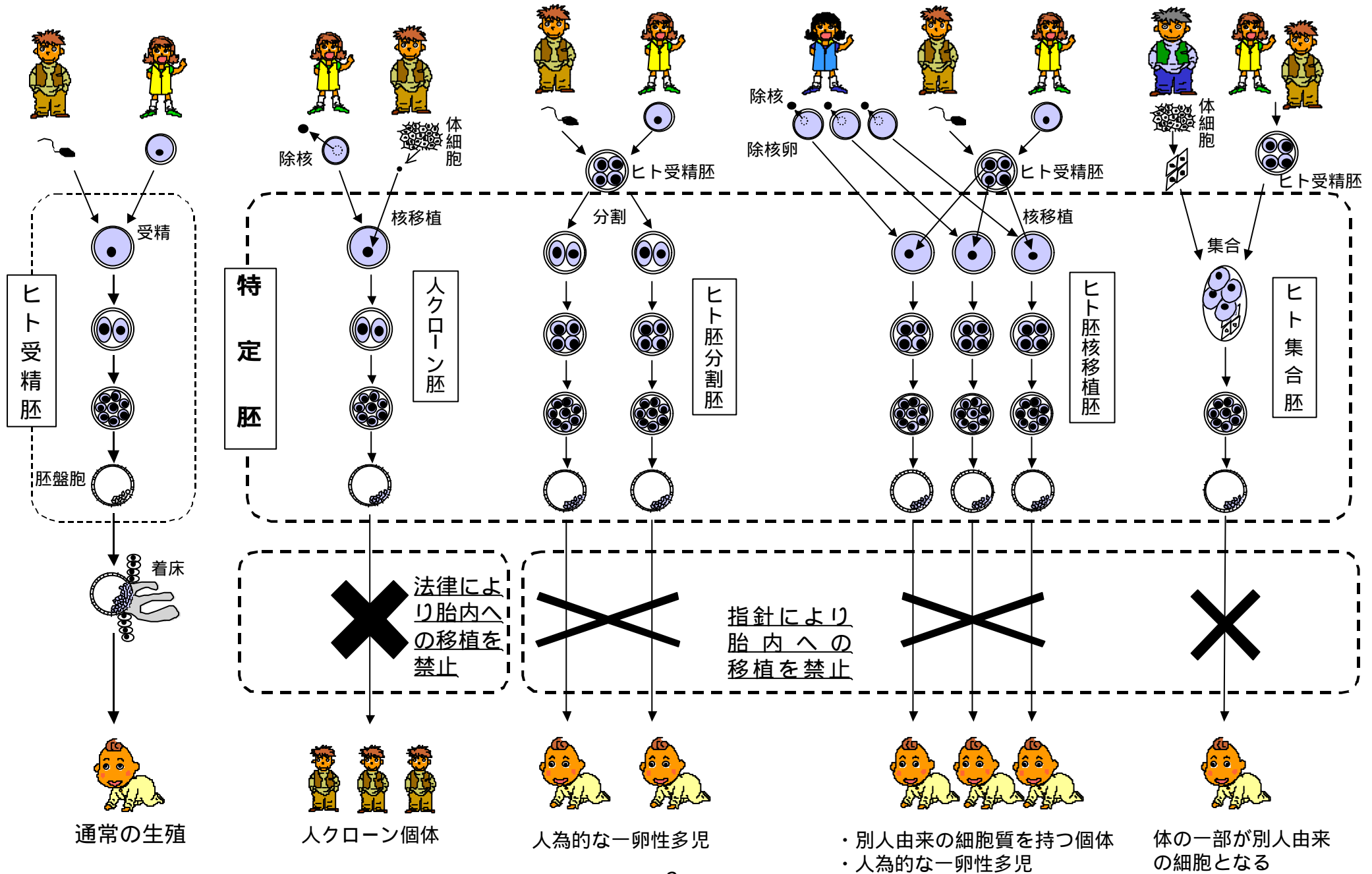


検討すべき胚の範囲について

胚を構成している組織の種類（ヒトか動物か）により胚を分類すると以下の3つの分類が考えられる。

- (1) ヒト由来の組織のみで構成されているもの
発生の過程を経ることによりヒトになる
(例) ヒトの精子とヒトの卵子の受精により生ずる胚（ヒト受精胚）
ヒトの未受精卵にヒトの体細胞核を移植して作成する胚（人クローン胚）
- (2) ヒト由来の組織と動物由来の組織で構成されているもの
発生の過程を経ることによりヒトの亜種になる
(例) 動物の未受精卵にヒトの体細胞核を移植して作成する胚（ヒト性融合胚）
ヒトの生殖細胞と動物の生殖細胞の受精により生ずる胚（ヒト動物交雑胚）
ヒトの未受精卵に動物の体細胞核を移植して作成する胚（動物性融合胚）
- (3) 動物由来の組織のみで構成されているもの
発生の過程を経ることにより動物になる
(例) 動物の精子と動物の卵子の受精により生ずる胚
動物の未受精卵に動物の体細胞核を移植して作成する胚

胚の種類について(1)・・・ヒトの組織のみで構成される胚



胚の種類について(2)・・・ヒトの組織と動物の組織で構成される胚

